学校番号	T3006

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ（４年制）	単位数	２	年次	３
使用教科書	『明解　世界史Ａ』　（帝国書院）						
副教材等	自主作成プリント（参考資料、ワークシート、課題学習）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は一斉講義形式で、黒板の内容をノートに写すという学習方法をとります。その際、教科書などを使って、イメージを広げていき、より理解を深められるようにして下さい。
・授業では、教科書以外に、白地図やプリント等を活用して、理解を深めていきます。
・他にも、調べ学習の様な作業的な取り組み等も行います。様々な取り組みを通して、知識や技能の定着を深めて下さい。
・まずは、毎回の授業できちんとノートを取り、ワークシートや定期的に出題される課題などをきちんと提出するようにして下さい。

２　学習の到達目標

・現在の世界の動きを見極め、主体的に生きていくために、現在の日本における歴史的共通認識の重要な部分を理解する。
・世界史の中で重要となる地理的条件や、世界史の中での日本など、様々な観点から世界の歴史を学ぶことによって、グローバルな視点を養う。
・世界の歴史の中での日本独自の歴史の歩みを学び、今後の日本のあり方を考える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史だけでなく、近代以前の歴史にも目を向け、世界史に対する関心を高め、現代において歴史を学ぶ重要性を認識し主体的に追求している。	世界の歴史と日本の歴史を結びつけながら各々の事象について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。	歴史を考察する上で必要とされる資料を収集し、有用な情報を選択し、図表にまとめるなど、適切に活用する技能が身についている。	世界の歴史に関する事柄を、地理的条件と繋げながら理解することが出来ている。また世界と日本の繋がりについて、知識を整理し、理解することが出来ている。
評価方法	ワークシート 課題学習 ノート提出	定期考査 ワークシート 課題学習	定期考査 ワークシート 課題学習	定期考査 ワークシート 課題学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	1－1．近代以前の諸文明	0)世界史へのいざない 1)ユーラシア諸文明の特質 2)ユーラシアの交流圏	○ ○	 ○	 ○	 ○	a:各地域の風土・生活・言語・思想などについて感心を高め、意欲的に追求するとともに、各地域の特質について考えようとしている。 b:各地域の風土・生活・言語・思想などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:各地域の風土・生活・言語・思想などに関する情報を収集し、適切に活用する技術を身につけている。 d:各地域の特質とその構造について把握し、基礎的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート 課題学習
	1－2．一体化に向かう世界	1)繁栄するアジア 2)大航海時代と新たな国家の形成	○	○ ○	 ○	 ○	a:アジア諸国の成熟過程やヨーロッパの変革期について、関心を高め、なぜそれらの事象が起こったのかを意欲的に追求しようとしている。 b:アジア・ヨーロッパの動向を考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:各地域の資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることが出来ている。 d:アジア諸国の成熟過程やヨーロッパの変革期について、十分に理解し、基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題学習
後期	1－3．欧米の工業化とアジア諸国の動揺	1)ヨーロッパとアメリカの諸革命 2)自由主義・ナショナリズムの進展 3)アジア諸国の動揺 4)東アジアの大変動	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○	a:ヨーロッパとアメリカの諸革命の過程と結果、またアジア諸国の動揺について、関心を高め、なぜそれらの事象が起こったのかを意欲的に追求しようとしている。 b:ヨーロッパの進出によりアジアが受けた影響について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:各地域の資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることが出来ている。 d:ヨーロッパ・アメリカの諸革命に対する基礎的な知識、アジア諸国の当時の状況などを十分に理解している。	定期考査 ワークシート 課題学習 調べ学習

	2－1.現代社会の芽生えと世界大戦	1)現在につながる社会の形成 2)第一次世界大戦がもたらしたもの 3)“民族自決”を求めて 4)経済危機から第二次世界大戦へ	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:19 世紀末から 20 世紀にかけて、欧米諸国や日本に見られた社会の急激な変化と世界の一体化に関する関心を高め、意欲的に追求している。 b: 19 世紀末から 20 世紀にかけて、欧米諸国や日本に見られた社会の急激な変化と世界の一体化について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c: 19 世紀末から 20 世紀にかけて、欧米諸国や日本に見られた社会の急激な変化と世界の一体化に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 d:産業構造の変化や大量消費社会、大衆社会の始まりなど、20 世紀という時代の特質を把握し、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題学習 調べ学習
	2－2.冷戦から地球社会へ	1)冷たい戦争の時代 2)冷戦終結への道のり 3)地球社会のあゆみ 4)持続可能な社会をめざして	○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	a:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立やアジア・アフリカ諸地域で見られた民族独立運動の展開、平和共存と多極化の進展などを通して、世界の大きな動向に関して関心を高め、意欲的に追求している。 b: 第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立と冷戦終結後の世界の様子を考察し、判断した過程や結果について、適切に表現している。 c:冷戦終結後の世界の政治、経済の動向、これからの国際社会における日本の役割、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 d: 冷戦終結後の世界の政治、経済の動向、これからの国際社会における日本の役割、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題学習 調べ学習

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。